



金沢港コンテナターミナル

- 本社所在地：石川県金沢市
- 事業概要：港湾運送業、倉庫業、一般貨物自動車運送業、貨物運送取扱事業、海運代理店業、通関業
- 常時使用する従業員：130名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：28億円
(2026年3月期)
- 法人番号：6220001002018
- Web：<https://www.kounknz.co.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
久保 光夫

金沢港からつなぐ地域の成長と未来 —地域未来戦略のゲートウェイへ—

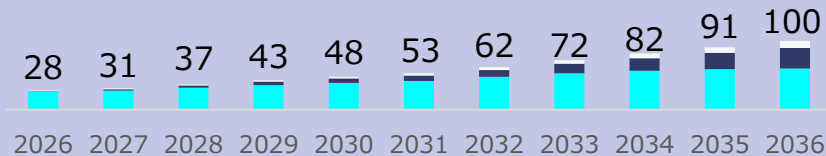
当社は昭和44年の設立以来、金沢港唯一の港湾物流事業者として、港湾物流を通じて金沢港と北陸の産業基盤を支えてまいりました。売上高100億円への挑戦は、単なる企業規模の拡大にとどまらず、国が推進する北陸の地域未来戦略を、地域の物流・商流の視点から支える成長戦略です。倉庫機能の拡充や地域商社機能の強化により、企業のサプライチェーンを支え、地域産業クラスターの形成を促進します。金沢港を「地域未来戦略のゲートウェイ」として、地域企業と共に豊かな北陸の未来づくりに貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年に売上高100億円達成を目指す。

■ 物流 ■ 商社 ■ その他



課題

- **物流キャパ**：倉庫不足により港湾での商品保管機能や小口混載（cfs）機能が足りず、輸出入のロジスティクス拠点としづらい。
- **商社機能**：生産者と海外市場を繋ぐ地域商社が当地に不在のため、県外大手商社に頼らざるを得ない現在の商流は、地域の海外市場進出ノウハウの蓄積に繋がらず、足腰の強い企業が育ちにくい。
- **人材**：地域に貿易実務や商社ビジネスに長けた人材が不足し、企業のニーズに応えていない。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

■ STEP 1：港から世界へ。物流プラットフォームを進化

物流の高度化（新倉庫建設、国際複合物流、プロジェクト物流）

■ STEP 2：物流から商流へ。地域の価値を世界へ

商流プラットフォームへ進化（地域商社、輸出入支援、販路開拓）

■ 上記を支える成長基盤

AX（AIトランスフォーメーション）/人材確保・育成/海外ネットワーク構築/AEO取得/M&A・アライアンス等で全事業の成長を加速させる

実施体制

- 代表取締役社長を統括責任者とし、各事業を横断的に連携させ、一気通貫のサービスを提供する全社推進体制を構築。
- 官民一体の連携組織、金沢港利用促進協議会を母体に、地元経済界と連携して、金沢港の利用拡大を目指す。
- 新倉庫建設や地域商社機能の立ち上げは、外部ノウハウの活用を含め、プロジェクトチームを組成して推進する。